

鈴木ヒラク

1978年宮城県生まれ、神奈川県育ち。現在、神奈川県／東京都在住  
website: [www.hirakusuzuki.com](http://www.hirakusuzuki.com)  
mail: [info@hirakusuzuki.com](mailto:info@hirakusuzuki.com)

#### <学歴>

2008年03月 東京芸術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了  
2001年03月 武蔵野美術大学美術学部情報映像学科卒業

#### <受賞/アーティスト・イン・レジデンス>

2023年09月-10月 文化庁芸術家在外研修員としてDRAWinternationalに滞在(フランス)  
2017年01月 THE 2017 FID PRIZE インターナショナル・ドローイング・コンテスト グランプリ受賞  
2012年09月-13年08月 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員としてベルリンに滞在(ドイツ)  
2011年09月-12年03月 アジアン・カルチュラル・カウンシル(ACC)の助成によりニューヨークに滞在(アメリカ)  
2011年05-08月 財団法人東京都歴史文化財団の助成によりチェルシー・カレッジ・オブ・アーツに滞在(イギリス)  
2009年11-12月 Red Bull House of Artに参加。サンパウロに滞在(ブラジル)  
2009年02-03月 財団法人東京都歴史文化財団の助成によりArtspace Sydneyに滞在(オーストラリア)

#### <職歴>

2021年04月 東京芸大大学院グローバルアートプラクティス専攻 准教授  
2024年12月 ヴロツワフ芸術大学(ポーランド) 客員教授

#### <個展>

2024年02月 Works on Paper - NADiff a/p/a/r/t (東京)  
2023年09月 今日の発掘 - 群馬県立近代美術館(群馬)  
2020年02月 Before the Cypher - OIL Gallery (東京)  
01月 Silver Marker and Some Stones - アニエスパー ギャラリー プティック(東京)  
2019年09月 Excavating Reflections- Galerie chantiers Boîte Noire (モンペリエ, フランス)  
07月 The WALL 01 鈴木ヒラク- 札幌大通地下ギャラリー500m美術館(北海道)  
2018年10月 The Writing of Meteors - EACH MODERN (台北)  
10月 STONES, LIGHTS, NORTH - ザ・ノースフェイス STANDARD (東京)  
04月 交通 - アートフロントギャラリー(東京)  
2017年10月 アーツ前橋連携企画 特別展示 鈴木ヒラク - rin art association (群馬)  
2016年10月 Constellations - 西武渋谷店(東京)  
2015年09月 GENZO - Misa Shin Gallery (東京)  
04月 かなたの記号 - 国際芸術センター青森(青森)  
2013年03月 Excavated Reverberations - 大和日英基金・ジャパンハウスギャラリー(ロンドン)  
2011年08月 Glyphs of the Light - ウィンブルドン・スペース(ロンドン)  
2010年12月 U - island MEDIUM (東京)  
06月 GENGA and Recent Drawings - ギャラリー デュ ジュール アニエスパー(パリ)  
2008年02月 NEW CAVE - トーキョーワンダーサイト渋谷(東京)  
2006年07月 dig - ギャラリー デュ ジュール アニエスパー(パリ)  
2004年11月 NAZO - アップリンク・ギャラリー(東京)  
2003年02月 鈴木ヒラク個展 - INAX ギャラリー2(東京)  
2000年07月 bacteria sign - ギャラリーフレスカ(東京)

#### <グループ展>

2024年08月 日本現代美術私観: 高橋龍太郎コレクション - 東京都現代美術館(東京)  
06月 NON/PRESENCE - Struga Palace (ヴロツワフ, ポーランド)  
05月 第9回東山魁夷記念 日経日本画大賞展 - 上野の森美術館(東京)  
05月 Forensic Vision - Geppart Gallery (ヴロツワフ, ポーランド)  
04月 カンヴァスの同伴者たち 高橋龍太郎コレクション - 山形美術館(山形)  
2023年11月 Plastic Revives - ポーラ ミュージアム アネックス(東京)

08月 constellation #03 rin art association (群馬)

07月 アーツ前橋開館 10周年記念 コレクション+ 手のひらから宇宙まで - アーツ前橋 (群馬)

07月 Interconnection 鈴木ヒラク・盛圭太二人展 - 三越コンテンポラリーギャラリー (東京)

2022年08月 ROOTS & ARTS SHIRAOI 白老文化芸術共創 - 旧しらおい発掘堂 (北海道)

08月 Art Front Selection 2022 summer - Art Front Gallery (東京)

07月 Signals - Drawing Tube - NADiff a/p/a/r/t (東京)

05月 MEET YOUR ART FESTIVAL2022: The voice of No Mans Land - 恵比寿ガーデンプレイス (東京)

03月 MOT コレクション 光みつる庭/途切れないささやき - 東京都現代美術館 (東京)

03月 N/world - MtK Contemporary Art (京都)

01月 Drawings - Plurality 複数性へと向かうドローイング <記号、有機体、機械> - PARCO MUSEUM TOKYO (東京)

2021年11月 生の軌跡—Traces of life— - アーツ前橋 (群馬)

10月 New Horizon : 西野壯平 Sohei Nishino・鈴木展 Hiraku Suzuki - EACH MODERN (台北、台湾)

09月 コレクション展「揺れる光/拡散する色彩」 - 群馬県立近代美術館 (群馬)

EXPOSITION GRAFFITI ET LA GALERIE DU JOUR AGNÈS B. 1985-2021 - La Fab (パリ)

08月 Summer Selection : Drawing Nature - アートフロントギャラリー (東京)

AGNÈS B. x HIRAKU SUZUKI “野生の記号 SIGNES SAUVAGE” コレクション - 京都 BAL 店 (京都)

06月 constellation #02 - rin art association (群馬)

2020年12月 INSIDE THE COLLECTOR'S VAULT, VOL.1—解き放たれたコレクション展 - WHAT (東京)

09月 先端芸術 2020 / アペラシオン APPARATION -先端芸術表現科 20周年&伊藤俊治教授退任 記念展 - 東京藝術大学大学美術館陳列館 (東京)

07月 Correspondence - EACH MODERN (台北) \*online exhibiton

06月 constellation #01 - rin art association (群馬)

2019年11月 MOT アニュアル 2019 Echo after Echo: 仮の声、新しい影 - 東京都現代美術館 (東京)

球体のパレット〜タグチ・アートコレクション - 札幌芸術の森美術館 (北海道)

09月 BOOM - MO.CO. Panacée (モンペリエ、フランス)

球体のパレット〜タグチ・アートコレクション - 北海道立函館美術館 (北海道)

06月 球体のパレット〜タグチ・アートコレクション - 北海道立釧路芸術館 (北海道)

04月 球体のパレット〜タグチ・アートコレクション - 北海道立帯広美術館 (北海道)

02月 アートみやぎ - 宮城県立美術館 (宮城)

2018年11月 アラワシの詠 (うた) - はじまりの美術館 (福島)

09月 ビヨンド・ワンダー -さまざまなユートピアへの眼差し - 名古屋芸術大学アート&デザインセンター (愛知)

04月 21世紀の美術 タグチ・アートコレクション展 - 平塚市美術館 (神奈川)

02月 psmg vol.003 鈴木ヒラクxコンタクトゴンゾ - コンタクトゴンゾ事務所 (大阪)

01月 コレクション展 3 見ることの冒険 - 金沢 21世紀美術館 (石川)

2017年12月 アートのなぞなぞ - 高橋コレクション - 静岡県立美術館 (静岡)

10月 point to line アブデルカデール・ベンチャマ/鈴木ヒラク - アニエスパー銀座 Rue Du Jour (東京)

10月 ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所 - アーツ前橋 (群馬)

04月 高橋コレクションの宇宙 - 熊本市現代美術館 (熊本)

04月 いちはらアートxミックス - アートハウスあそびばらの谷 (千葉)

03月 繊細と躍動 - ポーラ ミュージアム アネックス (東京)

03月 SIDE CORE — 路・線・図 - Gallery TRAX (山梨)

2016年09月 山形ピエンナーレ - 東北芸術工科大学 (山形)

07月 ぐるっと展望!現代アート入門 - 高橋コレクション - 金津創作の森 (福井)

04月 Very Addictive - Re extension of Aesthetics in Daily Life - 銀川現代美術館 (銀川、中国)

03月 contemporary art works in kyo-machiya - gallery the youth (京都)

02月 第8回恵比寿映像祭 動いている庭 - 恵比寿ガーデンホール (東京)

01月 どこにもない新しい場所 - 西武渋谷店 (東京)

2015年12月 THINK TANK Lab Triennale / International Festival of Contemporary Drawing  
ヴロツワフ建築美術館 (ヴロツワフ、ポーランド)

11月 5 x 3 - クンストラム・デュッセルドルフ (デュッセルドルフ、ドイツ)

10月 COSMOS/INTIME - パリ日本文化会館 (パリ)

04月 TRAITS d'esprit - ギャラリー デュ ジュール アニエスパー (パリ)

2014年09月 国東半島芸術祭 希望の原理 - 旧香々地町役場 (大分)

06月 バンクーバー・ピエンナーレ (バンクーバー、カナダ)

03月 DRAWING NOW PARIS - キャロ・デュ・タンブル/エスパス・コミンヌ (パリ)

2013年09月 日産アートアワード - BankART Studio NYK (神奈川)

09月 高橋コレクション — マインドフルネス! - 札幌芸術の森 (北海道)

07月 高橋コレクション — マインドフルネス! - 霧島アートの森 (鹿児島)

04月 DRAWING NOW PARIS - カルーゼル・デュ・ルーヴル (パリ)

02月 Wall Art Festival in Warli - Jivan Sikshan Mandir Ganjad (ダハヌ、インド)

2012年09月 ソンエリュミエール、そして叡智 - 金沢 21世紀美術館 (石川)

- 07月 パンタ・レイ 小金沢健人/鈴木ヒラク - TALION Gallery (東京)
- 03月 SIDE CORE — 日本美術とストリートの感性 - BA-TSU ART GALLERY (東京)
- 01月 One And Many - Location One (ニューヨーク)
- 2011年11月 地表から遠く離れて 鈴木ヒラク/逢坂卓郎 - TALION Gallery (東京)
- 09月 DRAWING — 線を描くという営為 - island MEDIUM (東京)
- 2010年03月 六本木クロッシング 2010 展: 芸術は可能か? - 森美術館 (東京)
- 07月 NON FICTION - Pulp/萬福寺 (大阪)
- 2009年11月 Red Bull House of Art - ホテル・セントラル (サンパウロ)
- 05月 Re: Membering — Next of Japan - Gallery LOOP (ソウル、韓国)
- 04月 愛についての 100 の物語 - 金沢 21 世紀美術館 (石川)
- 03月 VOCA 展 2009 - 上野の森美術館 (東京)
- 03月 Between Site & Space - Artspace Sydney (シドニー)
- 2008年11月 FIXMIXMAX! 2 — 現代アートのフロントライン - 札幌宮の森美術館 (北海道)
- 10月 MIMITOME - Tou Scene (スタヴァンゲル、ノルウェー)
- 09月 都市のディオラマ: Between Site & Space - トーキョーワンダーサイト渋谷 (東京)
- 2004年08月 Tokyo Style in Stockholm - Karl Johans Torg (ストックホルム)
- 08月 Tokyo Style in Gothenburg - Roda Sten (ヨーテボリ、スウェーデン)
- 2002年08月 Tokyo Art Jungle - 東京国際フォーラム/JR 山手線 (東京)
- 2001年08月 do bacteria sleep? - 京都市美術館/Tranq Room/etw/Be Good café・全4会場 (京都)
- 2000年11月 World Wide Network Art 2000 - ギャラリーフーロル/T 法然院 (京都)
- 07月 現代日本版画展 - AECl (サンタクルス、ボリビア)

<主なライブドローイングパフォーマンス> (w/ は共演を示す)

- 2023年12月 ライブドローイング w/FUJII|||||||TA - 群馬県立近代美術館 (群馬)
- 09月 ライブドローイング+トーク - 群馬県立近代美術館 (群馬)
- 03月 「鈴木ヒラク・中山晃子・浅井裕介ドローイングトリオ」音楽堂のピクニック- 神奈川県立音楽堂 (神奈川)
- 2022年12月 未知のプリズム w/沢田穰治、サイモン・フィッシャー・ターナー、森崇、アオイヤマダ - アップリンク吉祥寺 (東京)
- 03月 Wizard of OP vol.000 w/小金沢健人、内橋和久- ANB Tokyo (東京)
- 03月 N/world - MtK Contemporary Art (京都)
- 2021年03月 ドローイング・オーケストラ featuring Abdelkader Benchamma w/ アブデルカデル・ベンチャマ、大原次郎、華雪、中山晃子、西野壮平、村田峰紀、やんツー、NAZE - TERRADA ART COMPLEX (東京) オンライン配信
- 2020年09月 山形ビエンナーレ 2020 「新しい線を思い出す」 - 東北芸術工科大学 (山形) \*オンライン収録配信
- 02月 ドローイング・オーケストラ w/ 大原次郎、カニエ・ナハ、西野壮平、ハラサオリ、村田峰紀、やんツー、BIEN 東京都現代美術館 (東京)
- 2019年12月 鈴木ヒラクx鈴木昭男 - 東京都現代美術館 (東京)
- 09月 北海道立函館美術館 (北海道)
- 07月 The WALL 01 鈴木ヒラク- 札幌大通地下ギャラリー500m 美術館 (北海道)
- 05月 Drawing Tube vol.4 w/ 西野壮平xGAP students - Hiraku Suzuki Studio (東京)
- 03月 アートみやぎ - 宮城県立美術館 (宮城)
- 2018年06月 「一本の木から」トーク+パフォーマンス w/小金沢健人 - 金沢 21 世紀美術館 (石川)
- 2017年12月 かくとはなす w/ 今福龍太 - アーツ前橋 (群馬)
- 11月 Drawing Tube vol.3 w/ アブデルカデル・ベンチャマ - トーキョーアーツアンドスペースレジデンス (東京)
- 09月 New Optimism w/ ハトリミホ - KATA (東京)
- 09月 札幌国際芸術祭 2017 w/ 吉増剛造 - 札幌芸術の森 (北海道)
- 08月 村田峰紀+ w/ 村田峰紀 - ギャラリーハシモト (東京)
- 04月 スガダイローと JASON MORAN と東京と京都 w/ スガダイロー、ジェイソン・モラン - ロームシアター (京都)
- 2016年12月 JINS Exploration w/ MOTHER TEREKO - JiNS 三宮店 (兵庫)
- 09月 「本を描く」 Drawing Tube vol.2 w/ 伊藤存 - 京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス (東京)
- 09月 Drawing Tube vol.1 w/ 吉増剛造 - 東北芸術工科大学 (山形)
- 08月 Drawing Tube vol.0 w/ 坂口恭平 - shimauma (東京)
- 2015年10月 アニエスパー!! Spirit - 新宿伊勢丹 (東京)
- 06月 音とドローイングのインプロビゼーションライブ w/ ハトリミホ、勝井裕二、U-zhaan、内田直之 - 下北沢 440 (東京)
- 05月 かなたの記号 - 国際芸術センター青森 (青森)
- 2014年10月 山形ビエンナーレ w/ 鈴木昭男 - 文翔館 (山形)
- 10月 Red Bull Music Academy w/ 灰野敬二 - スーパー・デラックス (東京)
- 09月 栗津潔、マクリヒロゲル 1 「美術が野を走る: 栗津潔とパフォーマンス」オープニングプログラム w/スガダイロー 金沢 21 世紀美術館 (石川)
- 06月 Vancouver Biennale w/ ロス・バードワイズ、ソレッサ・ガードナー、ジョー・シャミニアック - コールハーバー・コミュニティ・センター (バンクーバー、カナダ)
- 03月 COVERD TOKYO w/ スガダイロー - PARK HOTEL (東京)

- 2013年02月 Wall Art Festival in Warli - Jivan Sikshan Mandir Ganjad (ダハヌ、インド)  
01月 ソンエリュミエール、そして叡智 w/ 植野隆司 - 金沢 21 世紀美術館 (石川)
- 2012年07月 XXX w/ 植野隆司 - スーパー・デラックス (東京)  
06月 HORS PISTES w/ カジワラトシオ、東野祥子、河村康輔、Rokapenis - アップリンク・ファクトリー (東京)  
05月 PULSE 振動 w/ Kitchen Orchestra, 永戸鉄也 - スーパー・デラックス (東京)  
03月 Opalnest presents Editquette w/ ローレン・コナーズ、ジュリアン・ランゲンドルフ - Printed Matter (ニューヨーク)
- 2011年12月 Hiraku Suzuki Live Drawing w/ ラズ・メシナイ - Location One (ニューヨーク)  
08月 Glyphs of the Light - ウィンブルドン・シアター (ロンドン)  
05月 Mai Jazz Festival - w/ Kitchen Orchestra, 永戸鉄也 - Tou Scene (スタヴァンゲル、ノルウェー)  
02月 サロン天国 vol.7 - スーパー・デラックス (東京)
- 2010年12月 U - island MEDIUM (東京)  
11月 MIKAISEKAI DX w/ 昆野立 - スーパー・デラックス (東京)  
06月 2010 年春夏パリコレクション - アニエスベーCMC (パリ)  
03月 六本木アートナイト w/ Shing02 - 森美術館 (東京)  
02月 星のこぶちでコツン w/ カジワラトシオ、東野祥子 - スーパー・デラックス (東京)
- 2009年07月 愛についての100の物語 - 金沢 21 世紀美術館 (石川)  
05月 愛についての100の物語 w/ Shing02 - 金沢 21 世紀美術館 (石川)  
04月 愛についての100の物語 recording w/ 植野隆司 - 金沢 21 世紀美術館 (石川)
- 2008年10月 MIMITOME w/ 灰野敬二、中原昌也、ぴかちゅー、生西康典、永戸鉄也 - Tou Scene (スタヴァンゲル、ノルウェー)  
08月 FLAT SESSION w/ 中村賢治 GROUP - スーパー・デラックス (東京)  
08月 Matar O No Matar w/ BABY-Q - スーパー・デラックス (東京)  
04月 インサイド/アウトサイド w/ Shing02, JUNZO, 伊東篤宏 - アップリンク・ファクトリー (東京)  
02月 サロン天国 vol.6 w/ 竹久圈 - スーパー・デラックス (東京)
- 2007年02月 w/ 煙巻ヨーコ、伊東篤宏 - アップリンク・ファクトリー (東京)  
02月 Kuala Mute Geek vol.09 w/ クリストフ・シャルル - andZONE (東京)
- 2006年09月 w/ EYE, カジワラトシオ, MOOCHY - サウンドチャンネル (大阪)  
07月 dig - ギャラリー デュ ジュール アニエスベー (パリ)  
08月 cooking 2 w/ L?K?O - GRID605 (東京)  
07月 Whoopees (京都)  
07月 cooking 1 w/ 植野隆司 - GRID605 (東京)
- 2005年12月 札幌メディアパークスピカ (北海道)  
11月 Tree of Life w/ 山川冬樹, KUJUN - アップリンク・ファクトリー (東京)  
10月 高輪プリンスホテル貴賓館 (東京)  
09月 Kosmic Renaissance Japan Tour w/ Kosmic Renaissance, 宇川直宏 - リキッドルーム (東京)  
04月 愛・地球博 2005 (愛知)
- 2004年12月 NAZO NIGHT vol.4 w/ テニスコート - アップリンク・ギャラリー (東京)  
12月 NAZO NIGHT vol.3 w/ 生西康典 - アップリンク・ギャラリー (東京)  
12月 NAZO NIGHT vol.2 w/ SEIN - アップリンク・ギャラリー (東京)  
12月 NAZO NIGHT vol.1 w/ Shing02, DJ A-1 - アップリンク・ギャラリー (東京)  
10月 w/ テニスコート - Spaon (北海道)  
08月 Tokyo Style in Stockholm w/Shing02, DJ A-1, 梅田宏明 - Kulturhuset (ストックホルム)  
07月 P!NK B!K!N! w/ Limma - スーパー・デラックス (東京)  
01月 サノバラウド w/ 藤乃家舞, ガムランオーケストラ - スーパー・デラックス (東京)  
01月 スーパー・デラックス (東京)
- 2003年11月 w/ Shing02 - リキッドルーム (東京)  
08月 札幌護国神社 (北海道)  
07月 Asahi Art Festival 2003 w/ こだま和文 - アサヒスーパードライホール (東京)  
07月 mud and words w/ Shuren the fire - BAR S-II (札幌)  
06月 w/Alex Reece - Womb (東京)  
04月 MINDBOGGLER w/ 生西康典, 植野隆司 - スーパー・デラックス (東京)  
02月 Tokyu Deconstruction w/ 生西康典 - Organ Bar (東京)
- 2002年04月 GADABOUT w/ Shing02 - MILK (東京)
- 2001年08月 Tranq Room (京都)
- 2000年11月 法然院 (京都)  
08月 bacteria sign w/ nibo, 岩井主税 - つつじの里児童遊園 (東京)  
07月 Lust (東京)

#### <主なコミッションワーク>

- 2022年11月 十和田市地域交流センター 壁画「光と遊ぶ石たち」(青森)  
2021年08月 野生の記号 SIGNES SAUVAGE (アニエスベーとのコラボレーション)

2020年12月	ガレリア御堂原 壁画「ゆらぎから光へ」(大分)
12月	白井屋ホテル壁画彫刻「発掘された反射(惑星のダンス)」(群馬)
11月	リコー3L 壁画「光の起源」(東京)
2017年01月	地下遊歩道パブリックアート「点が線の夢を見る」(大分)
2016年12月	JINS 三宮店 ART WALL/ウインドウ壁画(兵庫)
09月	Point to Line アニエスベー銀座 Rue Du Jour(東京)
2015年10月	HIRAKU SUZUKI pour Agnes b.2015(アニエスベーとのコラボレーション)
2015年01月	コム デ ギャルソン オム プリュス(川久保玲とのコラボレーション)
2014年05月	コム デ ギャルソン オム プリュス(川久保玲とのコラボレーション)
2013年12月	ZOZO BASE 壁画(千葉)
01月	コム デ ギャルソン シャツ(川久保玲とのコラボレーション)
2012年05月	アニエスベー青山店外壁(ART FACADE PROJECT Vol. 5)
2011年11月	コム デ ギャルソン 青山/京都/ロンドン/香港/ソウル/北京店舗内装(川久保玲とのコラボレーション)
2010年12月	コム デ ギャルソン 北京店外壁(川久保玲とのコラボレーション)
06月	アニエスベー HOMME Paris Collection/アニエスベー本社壁画
2009年09月	HIRAKU SUZUKI pour Agnes b. 2009(アニエスベーとのコラボレーション)
2008年10月	HIRAKU SUZUKI pour Agnes b. 2008(アニエスベーとのコラボレーション)
10月	アニエスベー ボヤージュ 表参道店(ART FACADE PROJECT)

### <パブリック・コレクション>

アニエスベー・コレクション(フランス)  
 アーツ前橋(群馬)  
 市原湖畔美術館(千葉)  
 大分市(大分)  
 金沢21世紀美術館(石川)  
 群馬県立近代美術館  
 株式会社ジンス  
 高橋龍太郎コレクション  
 タグチ・アートコレクション  
 東京都現代美術館  
 十和田市現代美術館(青森)  
 日産自動車  
 フォンダシオン・インク(スイス)  
 前澤友作コレクション  
 株式会社リコー  
 ロンドン芸術大学(イギリス)

### <主なレクチャーとプレゼンテーション>(w/ は共演を示す)

2024年03月	トーク・セッション「書き/描き残すことについて」 w/浅井裕介 - NADiff a/p/a/r/t(東京)
03月	アーティストック GUNMA「高校生のための特別授業」- 群馬県立近代美術館(群馬)
2023年11月	トークショー w/村田峰紀 - rin art association MAEBASHI(群馬)
10月	"DRAWING THE LINES BETWEEN ART AND SCIENCE" w/ティム・インゴルド - 東京藝術大学(東京)
04月	CORRESPONDENCE: DRAWING SYMPOSIUM 2023 w/ゲアリー・ヴァーナー(シドニー)
2022年11月	公募 AIR ゲスト審査員トーク w/ヴァネッサ・エンリケス、橋本晶子、前田耕平、吉田真也 - 国際芸術センター青森(青森)
11月	特別講義「野生のドローイング」w/浅井裕介、石田尚志 - 多摩美術大学(東京)
03月	「生の軌跡-Traces of life-」鈴木ヒラク レクチャー&トーク - アーツ前橋(オンライン) <a href="https://www.youtube.com/watch?v=G5VdmErC4hY&amp;t=2546s">https://www.youtube.com/watch?v=G5VdmErC4hY&amp;t=2546s</a>
02月	「ドローイングを拡張せよ!」Drawings - Plurality 展 w/村山悟郎、やんツー、MC 宇川直宏 - DOMMUNE(オンライン)
2019年12月	吉増剛造 x 鈴木余位 x 鈴木ヒラク - 東京都現代美術館(東京)
09月	中学生対象レクチャー - 北海道立函館美術館(北海道)
07月	The WALL 01 鈴木ヒラク- 札幌大通地下ギャラリー500m 美術館/CA102(北海道)
06月	特別授業(伊藤存) - 京都立芸術大学(京都)
05月	Drawing Tube vol.4 w/ 西野壮平 x GAP students - Suzuki Hiraku Studio(東京)
03月	アートみやぎ - 宮城県立美術館(宮城)
2018年09月	トーク w/ 近藤正勝 - Minatomachi POTLUCK BUILDING(愛知)
07月	特別授業(伊藤俊治) - 東京芸術大学大学院(東京)
06月	「デザインする心」を学ぶ 芸術系教科実践講座 - 青森県総合学校教育センター(青森)
03月	トーク w/ BIEN - BLOCK HOUSE(東京)

- 2017年12月 トーク/レクチャー・パフォーマンス「かくとはなす」w/ 今福龍太 - アーツ前橋 (群馬)  
 10月 トーク「ヒツクリコ ガツクリコ トーク」w/ 名児耶明、住友文彦 - 前橋文学館 (群馬)  
 07月 特別授業 (小沢剛) - 東京芸術大学 (東京)  
 05月 特別授業 (住友文彦) - 東京芸術大学大学院 (東京)  
 03月 シンポジウム「大分市アートを活かしたまちづくりシンポジウム」w/ 野田邦弘、山出淳也 - コンパルホール (大分)  
 01月 トーク「日々のでんてん、巡るせんせん」w/ 浅井裕介 - NADiff a/p/a/r/t (東京)
- 2016年10月 特別講義 (飯田志保子) - 東京芸術大学 (東京)  
 09月 「本を描く」Drawing Tube vol.2 w/ 伊藤存 - 京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス (東京)  
 08月 トーク/レクチャー・パフォーマンス w/ 坂口恭平 - shimauma (東京)  
 07月 トーク「ぐるっと展望! 現代アート入門 -高橋コレクション」w/ 高橋龍太郎 - 金津創作の森 (富山)  
 02月 アーティスト・トーク w/ 岡村恵子 - 東京都写真美術館 (東京)
- 2015年12月 シンポジウム w/ Daniela Tagowska、Prezemek Pintal、堀尾貞治 - BARBARA (ヴロツワフ、ポーランド)  
 12月 トーク「写真とドローイング、そして都市」w/西野壮平 - IMA GALLERY (東京)  
 11月 アーティスト・トーク - Kunstraum Düsseldorf (デュッセルドルフ、ドイツ)  
 06月 特別講義 (伊藤俊治) - 東京芸術大学大学院 (東京)  
 05月 アーティスト・トーク - 国際芸術センター青森 (青森)
- 2014年12月 特別講義 (クリストフ・シャルル) - 武蔵野美術大学 (東京)  
 2014年04月 特別公開授業『未来を発掘する』 - 早稲田塾 (東京)  
 2013年07月 アーティスト・トーク - 霧島アートの森 (鹿児島)  
 2013年05月 アーティスト・トーク w/ サイモン・ケイナー博士 - 大和日英基金 (ロンドン)  
 2008年12月 『メディアアート論』特別講義 (岩井天志) - 東北芸術工科大学 (山形)  
 04月 トーク w/ Sing02 - アップリンク・ファクトリー (東京)

#### <装丁へのアートワーク提供>

- 2022年 高橋憲人『環境が芸術になるとき』 - 書籍装丁 (春秋社)  
 2020年 Petter Frost Fadnes『Jazz on the line : improvisation in practice / Series: Transnational studies in jazz』 - 書籍装丁 (Routledge, イギリス)  
 2017年 植野隆司『Tea in the Guitara』 - CD (宇治香園)  
 2016年 植野隆司 × 鈴木ヒラク『Son et lumiere』 - CD (majikick)  
 George Quasha『art is (SPEAKING PORTRAITS)』 - 書籍装丁 (Performance Ideas, アメリカ)  
 2015年 J.A.K.A.M.『COUNTERPOINT EP.1』 - 12 inch (T-Annex)  
 2014年 Bonnie Marranca『Conversations with Meredith Monk』 - 書籍装丁 (Performance Ideas, アメリカ)  
 2013年 Aya Nishina『Flora』 - CD (Tzadik, アメリカ)  
 Paul David Young『new ART theatre』 - 書籍装丁 (Performance Ideas, アメリカ)  
 2008年 SHING02『歪曲』 - CD (MARYJOY RECORDINGS)  
 Ueno『Sui-Gin』 - CD (ROOM40, オーストラリア)  
 2005年 Nude Jazz『Cynodontia』 - CD (MARYJOY RECORDINGS)  
 Veno Tagashi『NEW GLASS』 - CD (360° Records)  
 SHING02『KOSMIC RENAISSANCE - LIVE IN TOKYO』 - CD/DVD (MARYJOY RECORDINGS)  
 2004年 Veno Tagashi『Venotagashi 2』 - CD (majikick)

#### <新聞連載へのアートワーク提供>

- 2020年 山出淳也「アート、まちに出る」 - 挿絵と題字 (西日本新聞社)

#### <ロゴ制作>

- 2024年 映画『i ai (アイアイ)』  
 2023年 企画制作プロジェクト『区区往来』  
 2021年 音楽プログラム『Strings of Love』  
 2016年 NHK ラジオ『ラジオアドベンチャー 奇界遺産』  
 2009年 『SHING02 - 歪曲巡礼 DOCUMENTARY FILM』

#### <音楽作品出版>

- 2010年11月 『Beam Drop』 Rui Gato & Hiraku Suzuki (test tube、ポルトガル)  
 2000年08月 『bacteria sign』 Hiraku Suzuki

#### <キュレーション>

2017年10月 “Point to Line” presents アブデルカデール・ベンチャマ - アニエスパー銀座 Rue du jour (東京)

#### <舞台美術>

2010年12月 生西康典演出『Momo,Momoko,Moe et…』 - スーパー・デラックス (東京)

#### <映像上映>

2022年03月 「Wizard of OP - 富岳風穴 / Fugaku fuketsu - 」 - ANB Tokyo (東京)

2009年07月 一柳慧×山下洋輔ーピアノセッション、映像：栗津潔×鈴木ヒラク - 金沢 21 世紀美術館 (石川)

#### <その他のメディア出演>

2023年12月 「POST FAKE」 - TOKYO MX (東京) <https://www.youtube.com/watch?v=QvrihsHu5Z0>

2022年09月 「GROWING REED」 - J-WAVE (東京)

06月 「アートフルワールド」 - BS フジ

#### <アートフェア>

2024年07月 第2回 Tokyo Gendai (rin art association、EACH MODERN) - パシフィコ横浜 (神奈川県)

2022年03月 アートフェア東京 2022 (EACH MODERN) - 東京国際フォーラム (東京)

2021年11月 ART021 Shanghai Contemporary Art Fair (EACH MODERN) - Shanghai Exhibition Center (上海、中国)

10月 Art Taipei 2021 (EACH MODERN) - 台北世貿一館 (台北)

2020年11月 West Bund Art & Design (EACH MODERN) - West Bund Art Center (上海、中国)

2019年01月 Taipei Dangdai (EACH MODERN) - Taipei Nangang Exhibition Center (台北)

2018年11月 West Bund Art & Design (EACH MODERN) - West Bund Art Center (上海、中国)

03月 DRAWING NOW PARIS (ギャラリー デュ ジュール) - キャロ・デュ・タンブル (パリ)

2017年03月 アートフェア東京 2017 (西武) - 東京国際フォーラム展示ホール (東京)

2016年03月 Art Basel Hong Kong 2016 Discoveries Section (Misa Shin Gallery) (香港)

2014年03月 DRAWING NOW PARIS (ギャラリー デュ ジュール) - キャロ・デュ・タンブル/エスパス・コミンヌ (パリ)

2013年04月 DRAWING NOW PARIS (ギャラリー デュ ジュール) - カルーゼル・デュ・ルーヴル (パリ)

2012年05月 Art HK12 (Island JAPAN) (香港)

2011年02月 TOKYO FRONTLINE - 3331arts chiyoda (東京)

#### <参考文献>

- 出版物

2023年11月 『鈴木ヒラク 今日の発掘』 Drawing Tube

09月 『DRAWING ドローイング 点・線・面からチューブへ』 左右社

2020年01月 『SILVER MARKER: Drawing as Excavating』 HeHe

2017年07月 『Drawing Tube vol.01 Archive 鈴木ヒラク ドローイング・パフォーマンス ゲスト：吉増剛造』 Drawing Tube

2015年12月 『鈴木ヒラク あなたの記号 言語と空間 | Langue and Space Vol.1』 青森県立大学国際芸術センター

2010年12月 『鉱物探し - Looking For Minerals』 ビームス

02月 『GENGA』 河出書房新社/アニエスパー

2008年03月 『TEAM 11 鈴木ヒラク - NEW CAVE』 財団法人東京都歴史文化財団トーキョーワンダーサイト

- 展覧会図録

2022年02月 『Signals - Drawing Tube』 Drawing Tube

01月 『生の軌跡-Traces of life-』 アーツ前橋

2020年06月 『アラワシの詠 (うた)』 社会福祉法人安積愛育園 はじまりの美術館

01月 『MOT アニュアル 2019 Echo after Echo: 仮の声、新しい影』 東京都現代美術館

2019年04月 『球体のパレット〜タグチ・アートコレクション』 中西出版

『アートみやぎ 2019』 宮城県立美術館

2017年12月 『アートのなぞなぞ 高橋コレクション展』 静岡県立美術館

11月 『いちばらアート×ミックス 2017』 美術出版社

11月 『ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所』 左右社

04月 『高橋コレクションの宇宙』 熊本市現代美術館

2016年 『ぐるっと展覧！現代アート入門 - 高橋コレクション』 金津創作の森

『東京都写真美術館主催第8回恵比寿映像祭「動いている庭」』 東京都写真美術館

『THINK TANK Lab Triennale / International Festival of Contemporary Drawing』 THINK TANK LAB

03月 『栗津潔、マクリヒロゲル 1「美術が野を走る：栗津潔とパフォーマンス」』 金沢 21 世紀美術館

2015年10月 『『COSMOS/INTIME - LA COLLECTION TAKAHASHI』 パリ日本文化会館

03月 『国東半島芸術祭記録集』美術出版社  
 09月 『5 × 3』Kunstraum Düsseldorf  
 2014年 『山形ビエンナーレ記録集』東北芸術工科大学  
 『Vancouver Biennale 記録集』Vancouver Biennale  
 10月 『Red Bull Music Academy Tokyo 2014』Redbull  
 2013年12月 『日産アートアワード 2013』日産アートアワード運営事務局  
 10月 『高橋コレクション-マインドフルネス!』美術出版社  
 02月 『ソリエリュミエール 物質・移動・時間、そして叡智』FOIL  
 05月 『Wall Art Festival in Warli』Blue Bear Inc.  
 2011年11月 『地表より遠く離れて』(for iPhone アプリ) TALION GALLERY  
 09月 『DRAWING -線を描くという営為』island  
 2010年03月 『六本木クロッシング 2010 展: 芸術は可能か?』美術出版社  
 2009年07月 『愛についての 100 の物語』金沢 21 世紀美術館  
 03月 『VOCA 展 2009』 「VOCA 展」実行委員会  
 2008年12月 『都市のディオラマ』財団法人東京都歴史文化財団トーキョーワンダーサイト  
 2004年 『Tokyo Style In Stockholm 2004』Letterhead AB

- 主な執筆

2024年05月 エッセイ「ノスタルジーア」『群像』2024年6月号、講談社  
 2023年03月 『弦楽器としてのレジデンス』 Making Things、国際芸術センター青森  
 2022年07月 審査についての所感(鈴木ヒラク) 公募 AIR リーフレット、国際芸術センター青森  
 2021年10月 エッセイ Signals#30、Drawing Tube  
 07月 『群馬青年ビエンナーレ 2021』カタログ、群馬県立近代美術館  
 2019年09月 「私の描くグッとムービー」『朝日新聞』2019年9月13日夕刊、朝日新聞社  
 2018年08月 コメント アニエス・ヴァルダ × JR 監督 映画『顔たち、ところどころ』に寄せて  
 2016年01月 植野隆司 × 鈴木ヒラク 『Son et lumiere』CDブックレット、majikick  
 2015年08月 コメント アニエス・トゥルブレ監督 映画『わたしの名前は...』に寄せて  
 2012年09月 エッセイ 『ソリエリュミエール 物質・移動・時間、そして叡智』、FOIL  
 エッセイ Drawing As Excavating 『PAJ A Journal of Performance and Art』2012年9月号 Volume34, No.3、MIT Press Journals (アメリカ) 、pp84-89  
 2011年12月 エッセイ Drawing as signals 『Bright 6』Graduate School Directory 2011/12、ロンドン芸術大学  
 2010年07月 Tower Records Online 内、intoxicate web original contents <Four Monkeys>

- その他の主な記事(出版物)

2024年 [ARTIST IN FOCUS] 鈴木ヒラク: ドローイングが拓く未知の領野との対話 『美術手帖』2024年1月号、美術出版社、p164-169  
 「カフカ没後 100 年 現代に通じる不条理を読み解く」 『日本経済新聞』2024年1月1日、日本経済新聞社  
 2023年 『アートコレクターズ』No.175 2023年10月号、生活の友社、p2-4  
 「来場者前で「線」表現」 『上毛新聞』2023年9月17日、上毛新聞社  
 『アートコレクターズ』No.168 2023年3月号、生活の友社、p7  
 「東奥春秋」 『東奥日報』2023年1月27日、東奥日報社  
 2022年 対談記事: 鈴木ヒラク、藤本壮介 『東奥日報』2022年12月28日、東奥日報社  
 「知覚情報としてのドローイングの可能性」 『AXIS』Vol.219 2022年10月号、アクシス、pp100-105  
 「生の軌跡」展で動画配信 制作背景 作家が解説 『上毛新聞』2022年3月4日、上毛新聞社  
 高橋憲人 『環境が芸術になるとき』、春秋社、pp158-172  
 2021年 特別対談: 高橋龍太郎×小山登美夫 『ONBEAT』vol.14、株式会社音美衣社、pp70-81  
 2020年 高橋龍太郎の「ニッポン現代アートの価値」第三回 鈴木ヒラク 『ONBEAT』vol.13、株式会社音美衣社、pp84-87  
 『美術屋・百兵衛』2020年春 No.53、株式会社麗人社、p93  
 『EYESCREAM』 No.175、株式会社スペースシャワーネットワーク、pp40-45  
 Petter Frost Fadnes 『Jazz on the line : improvisation in practice / Series: Transnational studies in jazz』 2020年 Routledge、pp26-28  
 2019年 「The wall 01 鈴木ヒラク」 『朝日新聞』2019年8月13日夕刊、朝日新聞社  
 竹内佐和子 『日本文化を語る』2019年7月9日、淡交社  
 2018年 楊婉茹 「以点と線描繪宇宙秩序(宇宙の秩序を点と線で描写する)」 『典藏・今藝術&投資』、第314期11月号、  
 典藏今藝術&投資編輯群、pp164-165  
 リサーチレポート 「ともに地球の声をきく」 『上野公園スタディーズ資料集』2018年3月、上野文化の杜新構想実行委員会、  
 pp28-29  
 対談「写真家の食卓 西野壮平× 中村裕太× 鈴木ヒラク」 『IMA』Vol.24 2018年5月29日号、アマナホールディングス、  
 pp144-149  
 セレクト 10 『プレーン』2018年6月号、宣伝会議、p129  
 2017年 「大分市新たな壁画が完成」 『大分合同新聞』2017年2月5日朝刊 14面、大分合同新聞社



- 2016年 インタビュー『日経 MJ』2016年10月12日発行、日経新聞社  
 インタビュー『TOKYO WONDER SITE ANNUALREPORT2015』2016年7月14日発行、  
 財団法人東京都歴史文化財団トーキョーワンダーサイト、pp12-15  
 伊藤俊治「空間を身体化するドローイング」『AC2 [エー・シー・ドゥー]』17号、2016年3月、青森公立大学国際芸術センター
- 2015年 北出智恵子「架空の考古学、あるいは、宇宙を針穴に通すということ」『美術手帖』2015年8月号、美術出版社 pp194-195  
 『Rolling Stone』10 vol.110、Power to the people、p34  
 アートワーク掲載『INTOXICATE』#115、Tower Records、p03
- 2014年 大友克洋とコラボレーションによるアートワーク掲載『Comme des Garçons』26
- 2011年 作品紹介とインタビュー『LODOWM MAGAZINE #77』2011年7月、LODOWM MAGAZINE (ベルリン)、 pp114-118  
 作家紹介『このアートがすごい2011』2011年2月、TOKYO FRONTLINE 事務局、pp72-73
- 2010年 岩淵貞哉「AUTHOR この著者に会いたい『GENGA』」『美術手帖』2010年5月号、美術出版社、p188  
 久保正樹「LONG REVIEW」『inoxidate』vol.85、タワーレコード、p72  
 art book of the month『DAZED&CONFUSED ISSUE188』2010年7月15日号、Waddell Limited  
 作家紹介『美術手帖』2010年6月号、美術出版社、p70  
 原田優輝「日常の狭間の発見を描き出す鈴木ヒラクのドローイング」『QUOTATION No.7』2010年4月26日号、BNN 新社、p73
- 2009年 『世界の、アーティスト・イン・レジデンスから』2009年12月1日、サムワズガーデン、pp133-134  
 富樫勲『BARFOOT!』2009年7月号 Vol.167、幻冬社  
 「15メートルの紙に文様描く 21世紀美術館でライブ」『北国新聞』2009年5月6日12面、北国新聞社  
 Between Site and Space『Column 3』2009年、Artspace Visual Arts Centre (Sydney, Australia)  
 アートワーク掲載『よむ花椿』2009年2月号 No.704、資生堂、p25  
 アートワーク掲載『SPROUT』2009年1月号 Vol.11、Sprout Japan Inc.
- 2008年 ART BIT「Road Sign - Diamond」『AERA』2008年11月3日号、朝日新聞出版、p92  
 オリバー・ワトソン『PAPERBACK MAGAZINE issue 2』(ロンドン)  
 IMAGE TO SURVIVE experimental group show on paper『SPROUT』VOL.11、SPROUT JAPAN INC.
- 2007年 アートワーク掲載『MESSAGE』7、2007年11月11日、MESSAGE、pp88-103
- 2006年 対談「生西康典×鈴木ヒラク」『STUDIO VOICE』VOL.370、2008年10月1日、INFAS パブリケーションズ、pp32-35  
 アートワーク掲載『MESSAGE』6、2006年、MESSAGE、pp166-167
- 2005年 表紙アートワーク『INTOXICATE』vol.59、2005年12月、NMNL  
 アートワーク掲載『MESSAGE』5、2005年、MESSAGE、pp2-3
- 2004年 アートワーク掲載『MESSAGE』3、2004年12月12日、MESSAGE、pp10-11  
 アートワーク掲載『MESSAGE』2、2004年10月10日、MESSAGE、pp10-11
- 2003年 WORD PUBLIC インタビュー、ライブドローイングレポート『SIM magazine』2号、2003年7月、飛鳥新社、pp84-99

- その他の主な記事 (インターネット)

- 2024年 [ARTIST IN FOCUS] 鈴木ヒラク：ドローイングが拓く未知の領野との対話 - 美術手帖  
 2024年2月8日 <https://bijutsutecho.com/magazine/news/exhibition/27723/pictures/1>
- 2023年 鈴木ヒラク×藤本杜介 十和田市地域交流センター (とわふる) 壁画作品《光と遊ぶ石たち》公開記念対談 - Tokyo Art Beat  
 2023年1月31日 <https://www.tokyoartbeat.com/articles/-/hiraku-suzuki-sousuke-fujimoto-towakomyu-talk-2023-01>
- 2022年 終わらないドローイング —— 「Drawings - Plurality 複数性へと向かうドローイング <記号、有機体、機械>」展レビュー  
 四方幸子 - DOZINE 2022年2月25日 <https://hagamag.com/uncategory/10702>  
 「ドローイングとは何か? そしてどこに向かうのか? 鈴木ヒラク、村山悟郎、やんツーが語る」 - ウェブ版美術手帖  
 2022年1月29日 <https://bijutsutecho.com/magazine/interview/promotion/25136>
- 2021年 「ドローイングで光の粒子を発掘する。鈴木ヒラクの考える音と光の関係とは」 - Audio-Technica 2021年8月30日  
<https://www.audio-technica.co.jp/always-listening/articles/hiraku-suzuki/>  
 Artist | 鈴木ヒラク 鈴木展 Hiraku Suzuki | 2021 - Each Modern 2021年7月30日  
<https://www.youtube.com/watch?v=hT18b80QajA>  
 WHAT ARTIST INTERVIEW #鈴木ヒラク - WHAT MUSEUM 2021年7月15日  
<https://www.youtube.com/watch?v=cEBNcnUPmsM&t=671s>  
 「描く、書く、搔く、欠く、画く—ドローイングの拡張から見出されるもの。檜山真有評」 - ウェブ版美術手帖  
 2021年6月30日 <https://bijutsutecho.com/magazine/review/24179>  
 「ドローイング・オーケストラ」とは何か——鈴木ヒラクと大原大次郎の対話、参加アーティストの証言からその全貌を探る - TOKION 2021年4月28日  
[https://tokion.jp/2021/04/28/drawing-orchestra/?fbclid=IwAR2ymeLital9KGHMF6V6P8JTjxk1CEPmOjywe-4her\\_-fWWWh68X5HqAW60](https://tokion.jp/2021/04/28/drawing-orchestra/?fbclid=IwAR2ymeLital9KGHMF6V6P8JTjxk1CEPmOjywe-4her_-fWWWh68X5HqAW60)
- 2020年 「ドローイングで発掘する世界のかたち。鈴木ヒラク インタビュー」 - ウェブ版美術手帖 2020年2月8日  
<https://bijutsutecho.com/magazine/interview/21303>  
 「鈴木ヒラクが『MOT アニュアル』で試みる ドローイング行為の拡張」 - CINRA 2020年2月12日  
[https://www.cinra.net/report/202002-drawingorchestra\\_myhrt](https://www.cinra.net/report/202002-drawingorchestra_myhrt)

- 2018年 対談「写真家の食卓 西野壮平×中村裕太×鈴木ヒラク」 - IMA 2018年6月号  
[https://imaonline.jp/articles/style/20180622photographers-table\\_01/#page-1](https://imaonline.jp/articles/style/20180622photographers-table_01/#page-1)  
 「2つの個展からドローイングの可能性を考える。服部浩之が見た「鈴木ヒラク - 交通」、清田泰寛「Melody Date」  
 - ウェブ版「美術手帖」2018年5月31日 <https://bijutsutecho.com/insight/15926/>  
 「鈴木ヒラクの個展が開催。"交通"をテーマに、時空間に新たな回路を開通させる」 - EYESCREAM 2018年4月26日  
<https://eyescram.jp/art/17752/>  
 「テーマは「交通」。時空間に新たな回路を開通させる鈴木ヒラクの個展が開催」 - ウェブ版「美術手帖」2018年4月24日  
<https://bijutsutecho.com/news/14129/>  
 「鈴木ヒラク個展「交通」」 - SHIFT 2018年4月21日  
<http://www.shift.jp.org/ja/blog/2018/04/hiraku-suzuki-traffic/>  
 「鈴木ヒラクアートフロントギャラリー | 東京 | 渋谷 - 表参道 2018.04.27 - 05.27」 - ART NAVI 2018年3月30日  
<https://ex.artnavi-bt.com/exhibition/1820>  
 「天王洲アイルでアートイベント「TOKYO CANAL LINKS #5」が開催決定！」 - TOKYO ART BEAT 2018年2月22日号  
<http://www.tokyoartbeat.com/tablog/entries/ja/2018/02/tokyo-canal-links-5.html>  
 住友文彦「キュレーターズノート 足利市立美術館「涯テノ詩聲 詩人 吉増剛造展」、アーツ前橋+前橋文学館  
 「ヒツクリコ ガツクリコ 言葉の生まれる場所」 - artscape 2018年1月15日号  
[http://artscape.jp/report/curator/10142529\\_1634.html](http://artscape.jp/report/curator/10142529_1634.html)
- 2017年 「「ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所」。詩や美術を通じて、言葉の力を問い直す」 - AXIS Web Magazine  
 2017年12月13日 <https://www.axismag.jp/posts/2017/12/87185.html>  
 「鈴木ヒラクが群馬県で特別展示を開催。光のインスタレーションを発表」 - 美術手帖 2017年10月23日号  
<https://bijutsutecho.com/news/8347/>  
 「「ことば」を切り口に古今東西の表現を紹介『ヒツクリコ ガツクリコ』展」 - CINRA.NET 2017年10月11日号  
<https://www.cinra.net/news/20171011-hitsukurikogatsukuriko>  
 「鈴木ヒラクと吉増剛造のドローイング・パフォーマンスの記録『Drawing Tube vol.01 Archive』刊行」 - type.center  
 2017年9月5日 <http://type.center/news/10071>  
 「アーティスト鈴木ヒラクと日本を代表する全身詩人・吉増剛造のセッション【NADiff オススメ BOOK】」 - infoseek  
 2017年8月10日 [https://news.infoseek.co.jp/article/fashion\\_headline\\_18403/](https://news.infoseek.co.jp/article/fashion_headline_18403/)  
 Hiraku Suzuki's New Book,"Drawing Tube vol.01 Archive" - TeRra.  
<https://magazineterra.com/hiraku-suzukis-new-book-drawing-tube-vol-01-archive/>  
 「artscape レビュー Drawing Tube vol.01 Archive」 - artscape 2017年7月15日号  
[http://artscape.jp/report/review/10137061\\_1735.html](http://artscape.jp/report/review/10137061_1735.html)  
 「CHECK CHECK CHECK! 今週のイチオシ!」 - CINRA.NET 2017年7月10日号  
<https://www.cinra.net/summary/20170710-cinramatome>  
 「鈴木ヒラクと吉増剛造のドローイング・パフォーマンスを記録した『Drawing Tube vol.01 Archive』が刊行」  
 - TOKYO ART BEAT 2017年7月8日号  
<http://www.tokyoartbeat.com/tablog/entries/ja/2017/07/hiraku-suzuki-drawing-tube.html>  
 「カフェ本に鉄道写真 光るトンネルのアートも 白鳥・養老エリア【いちほらアート×ミックスへ行こう!】<5>」  
 - ちばとび!チャンネル 2017年5月7日 <http://chibatopi.jp/la0e3c95>  
 Pastore, Jennifer. "Six Golden Week Getaways" Tokyo Art Beat. 2017.4.27,  
<http://www.tokyoartbeat.com/tablog/entries.en/2017/04/six-golden-week-getaways.html>  
 「本日スタート!注目の若手アーティストを知るチャンス「ポーラミュージアム アネックス展」」 - girls artalk  
 2017年3月31日 <http://girlsartalk.com/feature/25233.html>  
 「大分で「アートを活かしたまちづくりシンポジウム」」 - 大分経済新聞、2017年03月22日  
<https://oita.keizai.biz/headline/751/>  
 「スガダイローxJ・モランのコラボ公演 ゲストに田中浜、鈴木ヒラク」 - CINRA 2017年2月10日号  
<https://www.cinra.net/news/20170210-sugamoran>  
 Brett Littman、Andrew Solomon、Sergei Litvin 「TOP TEN FID GRAND PRIZE 2017」  
[http://thefid.org/wp-content/uploads/2017/01/FID\\_PRIZE\\_2017\\_Catalog.pdf](http://thefid.org/wp-content/uploads/2017/01/FID_PRIZE_2017_Catalog.pdf)
- 2016年 「JINSのお店~三宮店 ART WALL~ event report」 - JiNS WEEKLY 2016年12月27日  
<https://weekly.jins.com/2016/12/artwall-eventreport.html>  
 「『鈴木ヒラク - Constellations-』」 - CINRA.NET 2016年10月4日  
<https://www.cinra.net/event/20161004-suzukihiraku>  
 「「黒」が西武渋谷店全館をジャック 鈴木ヒラクのアートも登場」 - Fashionsnap.com 2016年9月29日号  
<https://www.fashionsnap.com/article/2016-09-29/shibuya-noir/>  
 「WWW X がキュレーション「アニエスベー キオスク」第7弾開催 | agnès b.」 - OPENERS 2016年9月13日号  
<http://openers.jp/article/1505126>  
 「テニスコーチ植野隆司とライブドローイングの10時間パフォーマンスをCD化」 - 音楽ナタリー 2016年1月30日  
<https://natalie.mu/music/news/174290>
- 2015年 「鈴木ヒラク x NEW ALTERNATIVE (壁画公開)」 - かごしま文化情報センター 2015年12月  
<http://www.kcic.jp/art/12967>  
 「Cosmos\Intime : 30 Ans D'art Contemporain Japonais」 - VALGIRARDIN.FR 2015年10月22日号

- <http://valgirardin.fr/culture/sorties-loisirs/exposition/cosmosintime-30-ans-dart-contemporain-japonais>  
 「アートや写真、音楽がクリエーションソース<アニエスベー>のスピリットを体感 agnès b. !! Spirit」  
 - Isetan park net 2015年10月7日 [http://isetanparknet.com/news\\_event/151007-agnesb.html](http://isetanparknet.com/news_event/151007-agnesb.html)  
 「SIDE CORE 「路・線・図」 : 7名のアーティストによるドローイングの展覧会」 - honeyee.com 2015年5月23日  
[https://www.honeyee.com/art-culture/170321\\_ro\\_sen\\_zu](https://www.honeyee.com/art-culture/170321_ro_sen_zu)  
 Aya Shomura "HIRAKU SUZUKI "TRAITS D'ESPRIT"" - SHIFT. 2015.4.14,  
<http://www.shift.jp.org/en/blog/2015/04/hiraku-suzuki-traits-desprit/>
- 2014年
- 能勢陽子「キュレーターズノート「希望の原理」(国東半島芸術祭)」 - artscape 2014年12月1日号  
[http://artscape.jp/report/curator/10105173\\_1634.html](http://artscape.jp/report/curator/10105173_1634.html)  
 「アーティスト・鈴木ヒラク氏特別公開授業レポート」 - 早稲田塾 2014年4月8日  
<http://www.wasedajuku.com/school/wasedane/all/detail.php?itemid=2672>  
 「美術手帖1000号記念「COVERED TOKYO: PARK NIGHT, 2014」開催」 - TOKYO ART BEAT 2014年2月27日号  
<http://www.tokyoartbeat.com/tablog/entries/ja/2014/02/covered-tokyo2014.html>
- 2013年
- ADRIAN FAVELL「チェックと日本の現代美術界についての感想」 - ART iT 2013年3月15日  
<http://www.art-it.asia/u/rhqiu/SRLDEKjW4upbzdvdq8GC/>  
 「次世代担う『日産アートアワード』ファイナリスト展、現代美術作家8人が新作制作」 - CINRA.NET 2013年9月17日号  
<https://www.cinra.net/news/2013/09/17/123019.php>  
 「Excavated Reverberations by Hiraku Suzuki」 - The East. 2013.3.21  
<http://www.theeast.org/excavated-reverberations-by-hiraku-suzuki/>
- 2012年
- 「14作家から人間の内面世界を照らす、展覧会『ソリエリュミエール、そして叡智』」 - CINRA.NET 2012年9月14日号  
<https://www.cinra.net/news/2012/09/14/203144.php>  
 「音楽家とアーティストによる異ジャンル即興セッションイベント『XXX』」 - CINRA.NET 2012年6月28日号  
<https://www.cinra.net/news/2012/06/28/190447.php>  
 Artcards Review "Armory Arts Week Event: 'Editquette' Photo Recap" - ARTCARDS Review. 2012.4.3  
<http://artcards.cc/review/armory-arts-week-event-editquette-photo-recap/5263/>  
 Satsuki Miyanishi "ONE AND MANY" - SHIFT. 2012.1.13,  
<http://www.shift.jp.org/en/blog/2012/01/one-and-many/>
- 2011年
- 「川久保 玲が認めた若き才能、アーティスト 鈴木ヒラク氏の展示が開催」 - OPENERS 2011年12月5日号  
<http://openers.jp/article/13283>  
 「谷中にギャラリー「TALION GALLERY」開廊、初回は逢坂卓郎と鈴木ヒラクの2人展」 - CINRA.NET 2011年11月1日号  
<https://www.cinra.net/news/2011/11/01/142143.php>  
 「ケネス・アンガーの魔術的映像作品をTシャツにデザイン、ライブ印刷イベント開催」 - CINRA.NET 2011年8月24日号  
<https://www.cinra.net/news/2011/08/24/130219.php>  
 「「ケネス・アンガーの洗礼はそれこそトラウマ」伊藤桂司と河村康輔が語る伝説的映像作家の集成『マジック・ランタン・サイクル』」 - WEB DiCE 2011年8月27日号 <http://www.webdice.jp/dice/detail/3190/>  
 Memi Mizukami" HIRAKU SUZUKI "GLYPHS OF THE LIGHT"" - SHIFT. 2011.7.29,  
<http://www.shift.jp.org/en/blog/2011/07/hiraku-suzuki-glyphs-of-the-light-2/>  
 Yuko Miyakoshi" - TOKYO FRONTLINE" SHIFT. 2011.3.9  
[http://www.shift.jp.org/en/archives/2011/03/tokyo\\_frontline.html](http://www.shift.jp.org/en/archives/2011/03/tokyo_frontline.html)
- 2010年
- 「生西康典による一夜限りの新作舞台に鉛屋法水、大谷能生、鈴木ヒラクが参加」 - CINRA.NET 2010年12月20日号  
<https://www.cinra.net/news/2010/12/20/170312.php>  
 「鈴木ヒラク個展『U』island MEDIUM」 - art-index 2010年12月12日  
[http://www.art-index.net/art\\_exhibitions/2010/12/u.html](http://www.art-index.net/art_exhibitions/2010/12/u.html)  
 「Journal | 鈴木ヒラク インタビュー」 - CAT'S FOREHEAD 2010年12月号  
<http://cats-forehead.jp/journal/HirakuSuzuki.html>  
 「鉱物をテーマにした新作ドローイングを紹介、鈴木ヒラク個展『U』」 - CINRA.NET 2010年11月30日号  
<https://www.cinra.net/news/2010/11/30/221314.php>  
 Rei Kagami" Roppongi Art Night 2010" - TOKYO ART BEAT, 2010.5.10  
<http://www.tokyoartbeat.com/tablog/entries/en/2010/05/roppongi-art-night-2010-2.html>  
 「六本木アートナイト 2010」 - TOKYO ART BEAT 2010年5月6日号  
<http://www.tokyoartbeat.com/tablog/entries/ja/2010/05/roppongi-art-night.html>  
 「森美術館で行われる3年に1度の展覧会『六本木クロッシング 2010 展』」 - CINRA.NET 2010年3月15日号  
<https://www.cinra.net/news/2010/03/15/210225.php>  
 「鈴木ヒラク作品集&出版記念イベント」 - ART iT 2010年2月26日号  
[http://www.art-it.asia/u/admin\\_news/mgFVM47lyB0PHIbGfeAx/](http://www.art-it.asia/u/admin_news/mgFVM47lyB0PHIbGfeAx/)  
 原田優輝「鈴木ヒラク インタビュー」 - PUBLIC-IMAGE.ORG 2010年5月10日  
<https://archive.fo/WuQXS#selection-363.5-363.9>  
 Mariko Takei「THINGS 鈴木ヒラク初作品集「GENGA」」 - SHIFT 2010年2月27日  
<http://www.shift.jp.org/ja/archives/2010/02/genga.html>  
 「〈住所不定の自然〉に惹かれる」マーカーとコピー用紙で世界の狭間に記号を刻むアーティスト・鈴木ヒラクに五所純子が聞く」 - web DICE 2010年5月20日号 <http://www.webdice.jp/dice/detail/2447/>

2008 年 Mariko Takei 「PEOPLE:鈴木ヒラク:ドローイングで今ここに潜む未来を発掘する」 - SHIFT 2008 年 10 月 29 日号  
[http://www.shift.jp.org/ja/archives/2008/10/hiraku\\_suzuki.html](http://www.shift.jp.org/ja/archives/2008/10/hiraku_suzuki.html)  
[http://www.shift.jp.org/en/archives/2008/10/hiraku\\_suzuki.html](http://www.shift.jp.org/en/archives/2008/10/hiraku_suzuki.html)  
DONALD EUBANK 「'Diorama of the City: Between Site and Space'」 - JAPAN TIMES 2008 年 10 月 2 日号  
<http://search.japantimes.co.jp/cgi-bin/fa20081002b1.html>